

令和 3（2021）年 8 月市長臨時記者会見の概要と質疑応答

令和 3（2021）年 8 月 1 日（日曜日）
午後 4 時 30 分～5 時 3 分
柏崎市役所多目的室

1 発表事項

市内での新型コロナウイルス感染症患者（市内 83～85 例目）の発生について

（主管：防災・原子力課）

7 月 30 日に、市内で新型コロナウイルス感染症患者が新たに 1 名確認されました。また、7 月 31 日に新たに 2 名確認されました。

市内 83 例目は、柏崎市居住の 50 歳代で飲食店従業員の女性です。7 月 29 日から喉の違和感、発熱、咳が出現し、症状が継続しているため 30 日に医療機関を受診し、PCR 検査を実施したところ陽性が判明しました。現在の症状は発熱と倦怠感があるとのことです。

市内 84 例目は、柏崎市居住の 40 歳代でアルバイトの女性です。7 月 28 日に喉の違和感が出現し、症状が継続しているため 31 日に医療機関で PCR 検査を実施したところ陽性が判明しました。現在の症状は、発熱があるとのことです。

市内 85 例目は、柏崎市居住の 30 歳代で会社員の男性です。7 月 27 日に市内 80 例目の濃厚接触者として PCR 検査を実施したところ陰性でした。その後、30 日に発熱があったため 31 日に医療機関を受診し、PCR 検査を実施したところ陽性が判明しました。現在の症状は、咽頭痛と咳があるとのことです。

84 例目の方は、7 月 26、27、28 日の 3 日間、市役所旧庁舎で行われているワクチン接種業務に、私どもが依頼している派遣事業者のお一人としてワクチン接種会場で従事していました。昨日、この方の陽性が判明しましたので、速やかにこの方を派遣している事業者の責任者を呼び、直ちに同様にこの事業者から派遣を受けている方の健康状態のチェックと PCR 検査を自主検査として行うよう要請しました。非常に心配だったのが、この方が従事しているワクチン接種会場に来られた市民の皆さんに影響があったのか否かということです。濃厚接触者の判定は保健所が行いますが、今回、接種会場に来られた市民の皆さんは濃厚接触者に当たらないという判断でした。また、この方と一緒に派遣された方々も濃厚接触者には当たらないという判断でした。しかし、この方の近いところにいた方に対しては心配があるということで、濃厚接触者ではありませんが、接触者に当たるとされる看護師 5 名に PCR 検査を受けていただきました。結果は陰性だったという報告を受けています。

会場内は毎日消毒していますが、このことが判明した段階で、速やかに改めて消毒を行い、

市民の皆さんに不安を与えないように、26、27、28 日に旧市役所でワクチン接種をされた方々約 2,100 人に本日お手紙を郵送しました。内容は、ワクチン接種業務に従事していただいた民間事業者の中のお一人が陽性者であったという事実と、ワクチン接種を受けた市民の皆さんは濃厚接触者には当たらないという事実を県外他市の事例も含めてお伝えするものです。また、副反応が出ると考えられる時期を過ぎていますが、いまだに体調に変化がある方は市役所にご連絡をいただきたいということも併せてお伝えしました。

ワクチン接種業務をお手伝いいただいている当該派遣事業者は当面の間、旧市役所での業務には携わらないようお願いしました。今日も当該事業者は入っていませんので、その分の業務は市職員が担っています。

2 質疑応答

記者：市内 84 例目の方について、接種会場にいた市民の方々が濃厚接触者に当たらないという判断はどのような基準なのか。

市長：濃厚接触者の判定は県が行っていますが、一般的には、一定の閉ざされた空間で一定時間以上接触している方を濃厚接触者と判定すると承知しています。具体的な基準は承知していませんので、新潟県にお問い合わせいただければと思います。

記者：市内 84 例目の方は、ワクチン接種会場では具体的にどのような業務をしていたのか。

市長：詳しいところまではお話しできませんが、事実関係をみると、看護師と短い時間ですが接触するところに従事していました。

記者：現在、派遣事業者が入っていない状態とのことだが、いつまで入らないのか具体的に決まっているのか。また、市職員が代わりに業務に当たっているとのことだが、ワクチン接種に影響はないか。

市長：全国の自治体でも、柏崎市と同様にワクチン接種業務を事業者をお願いする事例が多くあります。ワクチン接種業務に携わる事業者の方々は、PCR 検査を行うことや 2 回のワクチン接種が済んでいなければならないというような国からの指導や方向性が示されているのかを確認したところ、そのようなことはなかったとのことでした。今回、柏崎市のワクチン接種業務に従事していただいている方は、日によって異なりますが、おおむね 1 日 40 人から 50 人ほどです。その方々全員に改めて PCR 検査を受けていただきたいと要請し、既に検査を受けていただきました。その結果が出るまでの間は市職員が代替して業務に当たります。接種開始当初は市職員のみで業務を行っていましたので、市職員が代替しても影響はなく、市民の皆さんに不安を与えるような状況ではありません。

記者：市内 84 例目の方は医療従事者としてワクチン接種済みだったのか。

市長：この方は医療従事者ではありませんので、ワクチン接種はしていません。他の自治体でも同様の事例がいくつかあります。派遣事業者ではなく、接種業務に携わっている自治体職員が陽性だった事例もあります。柏崎市職員はキャンセルがあったワクチンを接種させて

いただいておりますが、全員の接種が終わっているわけではありません。

記者：26日から28日の3日間に旧市役所でワクチン接種をされた方々約2,100人の年齢区分などを伺いたい

市長：正確には2,118人です。64歳以下の方の接種も始まっていますので、65歳以上の方も64歳以下の方もいらっしゃいます。

記者：会場内の消毒はいつ行ったのか。

市長：昨日の午前中に陽性が判明しましたので、お昼にかけて消毒を行いました。昨日の午前中は、接種は行われていませんでした。

記者：1日40人から50人ほどがワクチン接種業務に従事しているという話だが、1つの事業者なのか。

市長：元請けの事業者は1つですが、従事しているのは複数の企業や団体とのことです。

記者：先ほど、東京電力が柏崎刈羽原子力発電所に勤務する1人が陽性判明したと発表したが、この方は柏崎市が今日発表した陽性者に含まれているか。

市長：市内85例目の方です。

記者：84例目の方に関して、医療従事者ではなく、市職員で代替できるような業務に当たっていたということだが、もう少し具体的な業務内容を伺いたい。

市長：例えば、接種に来られた方を案内するような業務です。

記者：派遣事業者の所在地は市内なのか。

市長：元請けの事業者の所在地は市外です。実際に従事している企業や団体は、市内のところもありますし、市外のところもあります。

記者：今日は3人の感染が判明したが、市内にデルタ株が入ってきているのかどうか、それによって件数が増えているのかについての認識を伺いたい。

市長：申し訳ありませんが、私どもは承知していませんので、県にご確認いただければと思います。

記者：市長の感触としてはどう思われるか。

市長：県内でも多くの陽性者が確認されていますので、これまでは増加傾向にあるという言葉を使っていたますが、増加していると断言できるレベルであると承知しています。また、緊急事態宣言地域やまん延防止等重点措置地域の拡大や期間延長も含めて、日本全体で感染のスピードが速くなっていることに関して非常に危機感をもっています。しかし、デルタ株や変異株に関する分析は私ではできかねます。

記者：83例目の方や84例目の方の感染ルートは分かっているのか。

市長：2人の感染はそれぞれ別のものだと報告を受けていますが、関連性も含めて詳細は県が調査中です。

記者：83例目の方に関して、勤務先の飲食店のお客さんや店主への感染は考えられるか。

市長：お客さんかどうかは分かりませんが、濃厚接触者の特定は済んでいて、既にPCR検査を受けたという報告を受けています。

市長：最後にワクチン接種の状況を申し上げます。7月31日時点で、65歳以上で1回目の接種が済んだ方が90.7パーセント、2回目の接種が済んだ方が89.2パーセントです。対象者のおおむね9割が接種を終えられました。

64歳以下に関しても、希望者の方々になるべく早く接種できるように知恵を絞って頑張っていきたいと思っています。